

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		平成27年度 第1回川西市景観審議会	
事務局(担当課)		都市整備部 まちづくり指導室 都市計画課	
開催日時		平成28年3月18日(金) 午前10時~午前11時30分	
開催場所		川西市役所4階 庁議室	
出席者	委員	出席: 澤木委員、平田委員、中江委員、栗山委員、森畠委員 欠席: 黒坂委員、李委員	
	その他	なし	
	事務局	朝倉・篠崎・橋本・川部・角田	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		議 題 (1) 報告第1号 景観計画の普及・啓発について (平成27年度事業の報告) (2) その他 平成28年度事業計画について	
会議結果		(1) 報告第1号 審議経過のとおり (2) その他 審議経過のとおり	

審 議 経 過

事務局	<p>おはようございます。少し早いですが、平成27年度第1回の川西市景観審議会を開催させていただきます。</p> <p>私、本日の司会進行をさせていただきます都市整備部まちづくり指導室の篠崎でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、これまでの自主条例に基づく「都市景観形成審議会」から、景観法に基づく制限等の調査審議をお願いいたします。「景観審議会」になりまして初めての開催でございます。委員の皆さま方には前年度から引き続き快くお引き受けいただき、厚く御礼申し上げます。また、年度初めには、本来直接お渡しすべき委嘱辞令を大変失礼ながら送付させていただきましたこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、会長よりご挨拶を申し上げます。</p>
会長	<p>おはようございます。今お話がありましたように景観審議会という名前に変わってから初めての審議会になります。第1回は年度末になってしまいましたが、年度末のお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。1名遅れて来られるということですが、過半数に達しておりますので開催させていただきます。</p> <p>昨年度までは皆さまにご尽力いただきまして、川西市の景観計画を策定していただきました。今年はその計画を実行していく1年ということでしたが、この後報告があると思います。また、一部の委員には景観計画リレーフォーラムでご講演いただくというご尽力をいただきまして、ありがとうございました。そのような報告をしていただいて、この1年を振り返りながら次年度に向けて皆さまのご意見を頂戴したいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は報告事項のみではございますが、ご質問ご意見をお受けするという形で進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それではここで、委員の出席についてご報告させていただきます。</p> <p>委員7名の内、本日出席いただいておりますのは、4名でございます。従いまして、半数以上の出席を得ておりますので、川西市景観審議会規則第6条第2項の規定に基づき、本日の審議会は成立いたしましたことをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、これより議事進行につきましては、会長 をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、次第に沿って進めていきたいと思っております。議題は2件でございます。</p> <p>まず議題(1)報告第1号「景観計画の普及・啓発について(平成27年度事業の報告)」でございます。</p> <p>それでは議題(1)報告第1号について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。事務局からの説明が終わりました。これにつきましてご質問等ございましたらお受けしたいと思います。</p> <p>フォーラムに関わられた委員は、何か追加でございましたらお願いします。</p>

委員	1つ質問です。アンケート結果で年齢、性別、住まいが出ておりますが、郷土館で開催したフォーラムには、地域の住民の方はどのくらい来られていたのか分かりますか。
事務局	今手元にはございませんが、参加者名簿に住所を記載していただいておりますので確認することはできます。
委員	歴史的景観に関することを、地元の方がどのくらい意識しておられるかということが一番重要になってきますので、地元の方に来ていただきたいという思いがあります。地元の方たちが郷土館をシンボルとしてまちを盛り上げていき、景観づくりの方向にもっていくというのが大事だと思います。また旧黒川小学校で開催したフォーラムも同じで、地域に関わっている方がおられるのかどうかというのを資料として整理することが大事かと思えます。
会長	ありがとうございます。 その他、いかがでしょうか。
委員	リレーフォーラム第2回の講演を担当させていただきました。市役所の方たちともご相談をして、単なる講演会ではなくて参加感のある内容にしようということで、事務局の方にご無理を言いながらワークショップとして植え込み作業をしていただきました。 こういう景観計画を策定して、その後どうするかという課題があると思いますが、1年間を通して色々な取り組みをしているということが分かりましたので、ぜひこれを続けていただきたいと思えます。 それから、こういう取り組みは全国的に見るとどのくらいのレベルなのかということをお聞きしたいです。全国的に見て、計画策定後の取り組みとして先進的であるというようにしていただきたいと思います。そういう意味では、このような講演会だけではなくて、写真展やはがき絵というのはおもしろい取り組みだと思いました。
委員	景観計画策定後の取り組みは非常に重要だと思います。リレーフォーラムの参加者のご意見の中に、景観計画をどのように実行していくのかという具体的なイメージがなかなか見えにくいという意見がありましたので、このような講演会を開催したり、まち歩きをしてどういう景観が実は私達にとって誇れる景観であるのかということを広めていったりということ積み重ねていくのは大切なことだと思います。 質問ですが、フォーラムの参加者を募集するにあたって、どのような広報をされたのでしょうか。
事務局	広報誌やホームページへの掲載、各公民館へのチラシの設置をしました。さらに各回のテーマが決まっておりましたので、例えば第1回の郷土館で開催した際は委員にご協力いただきヘリテージマネージャーの関係の方に発信させていただくなど、テーマに合わせて発信先を変えながら周知を行いました。
委員	かなり手広く広報を行っている印象を受けました。先程おっしゃったように、地域ごとに行う景観フォーラムというのは、地元の方にたくさん来ていただく方がフォーラム後の効果が高いと思われます。景観に興味を持っていただき、景観啓発の活動にご協力いただく等、主体的プレイヤーになっていただける可能性を増やすためには、やはり地域の方々を中心に重点的に広報する必要があると感じます。

	<p>例えば自治会等の地域団体の役員さんを巻き込むという方法がありまして、自治会、婦人会、子ども会等いろいろありますが、そのような団体の役員さんに集まってもらうとか、役員会の同じ日時に開催するとか積極的なアプローチをしていくのが良いと思います。</p> <p>また、地域活動や景観形成の活動というものは参加者の年齢層が高くなりがちですが、将来的な視点から考えると、幼い時からふるさとの景観は良いものであるということを教育していくことが今後大切になっていくと思います。8ページのアンケートのご意見の中にも、小学校など小さな頃から教育をしっかりしていくことを心がけるべきとありますし、早いうちからの教育が大切だと思います。</p> <p>また、13ページにシビックプライドと川西というご意見がありますが、これを早めに取り組んでいくと良いと思います。全国的に見て景観に関する教育はまだ進んでおらず、関西近辺で行っている所を聞いたことがないので、早めに取り組んでいくとかなり特色のある活動になっていくという気がします。小学校にご協力いただいて、地域学習の時間に必ず川西の景観の話を入れてくださいとか、川西市内の小学校に通っている子どもは必ず遠足で旧黒川小学校に行くとか、そういうプログラムを組み込んでいけば、幼い時からうまくシビックプライドの醸成ができ、かつ自分の身の回りの風景や景観に興味を持つ人に育てていくことができると思います。そして、景観に関心を持った人たちは川西市外に住んでいても、いずれは川西に戻ってくるということがあると思いますので、その時にプレイヤーになってくれる人を長い目で見て育てるという意味で、景観教育が今後重要になってくると思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>参加者がどこから来られたかということが話題になっていますが、第1回、第2回に市外からの参加というのはどういう方が来られたのでしょうか。</p>
事務局	<p>第1回はヘリテージマネージャーの関係の方で、市外の設計事務所の方等が来られました。</p> <p>第2回は緑化協会にお声を掛けさせていただいて、活動団体の方に来ていただきました。その中に近隣市で活動されている方がおり、このような講演があることをお伝えしましたところ6名の市外の方にご参加いただきました。</p>
委員	<p>旧黒川小学校での開催は参加者が市内よりも市外の方が多かったようですが、以前の審議会で旧黒川小学校を半分建て替えるという話があった際に強く反対の意見をさせていただいたのですが、今回のフォーラムにおいて外からの目で評価していただき、地元の方に旧黒川小学校の重要性を認識していただいたという印象を受けました。参加者についてはもちろん地元の方にできるだけ来ていただいた方が良いのですが、一定数の外からの目があって、こういう見方で見るとこの場所は良いのだということを言うてくださる人もある程度来た方が良いと思います。特に建築物の場合、地元の方は単に古いとしか見ないので、こういった視点から大事にしましょうとか、この建築物は大事であるという意見を色々な人から言っていただくと、行政や専門家から言われるよりも良いのではないかとこの感想を持ちました。</p>
議長	<p>ありがとうございます。 事務局は何かありますか。</p>

事務局	<p>第2回だけ出席できず申し訳なかったのですが、その他は全て出席させていただきました。特に旧黒川小学校については昨年度末にいろいろ議論があったと引き継ぎを受けておりましたので、何かできないかと探っていたのですが、黒川地域の活性化を他の部局が行っておりまして、そこでどのような考え方をされているのかを根本から聞いていきました。そうすると、旧黒川小学校は機能的にどのような役割が必要かということだけを議論して黒川地域の活性化を検討されていまして、旧黒川小学校は人が集まる場所だということが大前提になってしまっており、その上でどのような機能があれば活性化につながるかということだけを捉えておられました。そういうことで、今回イエローゾーンの指定ということが大きなきっかけであったのですが、機能ではなくそのものの存在の価値という視点でどこまで議論されましたかを確認しましたところ、それほどきちんと議論されている訳ではなかったのです。地元で活用を考えられている方々は、県の景観形成重要建造物ということは知りつつも、景観形成重要建築物としてどう扱うべきかということをあまり考えられていなかったようなので、今回番外編の景観フォーラムをさせていただき、景観的な意味合い、すなわち見た目や歴史という視点でフォーラムを開催させていただきますということで、活性化を考えている部局にも了解を得て開催したところ、このような結果になりました。外部の方からはなぜ壊してしまうのかという意見もありまして、先程事務局からも説明があった通り、このまま保存するかということを決めずに、活用するための機能は何が必要かということと、そのままにしておくことが活性化につながるということを認識するにあたり、このフォーラムがきっかけになったと思っておりまして、そういう意味ではこういう取り組みが、本当は市の内部で事前にきちんと調整ができるに越したことはないのですが、外からの意見に触れることで少し市の内部の考え方も変わってくるのかということを実感できたのではないかと思います。このようなことを繰り返していくことが重要であると再認識できたと思っております。</p>
委員	<p>旧黒川小学校には私も関わっていたので少しお話しさせていただきますと、今事務局が言われたような耐震改修してきちんと活用しようかということですが、そこまで考える必要性はあるのかと感じています。今の使い方というのは非常にバランスが良く、アートイベント等で使っていたりしており、その際にはとても盛り上がっているのを目にしました。ずっと賑わっている訳ではないけれども、一時的に旧黒川小学校を使って盛り上がっている時期があります。イベントに参加していたアーティストにもう少し改修した方が良くないと聞くと、がたついているこのままが良い、このままで使わせていただいたら十分ですというご意見で、このような曖昧な保存状況が良いのではないかと思います。使用すると耐震改修しなければならないといったきっちりとした考え方ではなく、柔軟な考え方でうまく残していくというやり方もあるのではないのでしょうか。いわゆる「黒川学校」として都会の方が週に1回講義を聴きに來るというのも良いかもしれませんが、柔軟に利用するという考え方があっても良いのではないかと思います。</p>
議長	<p>フォーラムという形になるかは分かりませんが、今後も黒川をテーマに引き続き活動を行っていくということでよろしく願います。多方面から議論していただいて、地域の方々や庁内の方々の意識を変えながら、共通認識を持っていたらと思います。また、子ども達にも見てもらうような形で、我々世代が思っている日本のふるさとの原風景をしっかりと目に焼き付けていただけたらと思います。</p> <p>日本で一番古い木造校舎と言われている岡山県の吹屋小学校が3年前に解体されてしまいました。旧黒川小学校は非常に貴重な建築物になりますので、使い方を良く考えていただければと思います。</p>

	<p>私の感想としましては、番外編も含めて4回のフォーラムを各地で開催し、川西の地域特性によってテーマを変え、ワークショップを併せた講演を行ってきましたが、今後景観形成重点地区を指定していく動きになっていくと、地域の方々がいかに景観まちづくりのなところに意識を持って取り組んでいただけるのかがポイントになってきますので、広く市民の関心を高めて景観に興味を持っていただき、景観計画にご理解いただくという底辺を広げるように啓発していただけたらと思います。また、小中学生にはそういったものをもう少しプログラム化したものになりますが、今回のように地域性を生かした方向のテーマに従って深く学習してもらい、プレイヤーとして育てていくような意識を持った啓発活動や景観まちづくりのための指導・支援のようなことも重要になってくると思います。</p> <p>川西の中部の辺りは開発された団地が多いのですが、すでに建築協定や地区計画が多くの地区で策定実施されているので、特に建築協定を結ばれている方は元々景観の意識が高いですから、このような地域と合わせて何かを行っていく等、もう少しテーマ性を持ってやっていくという動きがあっても良いのかと思います。</p> <p>その他、ご質問等はございませんか。</p>
委員	<p>はがき絵の展示につきましてお聞きしたいのですが、応募者の数は何人くらいですか。写真でしたら簡単に撮影して応募できますが、はがき絵というのは一般の方が私も描いて応募しようというようにならないと思うので、少しくローズドな感じになってしまうのではないかという感じがするのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>すみません。今、手元に資料がないので申しあげられないのですが、確かに写真展に比べるとローズドな感じになっているので、それを解決するために市内のはがき絵の協会の先生が各公民館で教室をされておりまして、その生徒さんにお声掛けをしながらより広がるよう努力はしております。ただ現状52点程の応募数なので、今後は以前行っていた写真展と隔年で開催することなどを検討していきたいと思っております。</p>
委員	<p>はがき絵に応募されているのは高齢の方が多いのではないのでしょうか。しかし今後景観を担っていくのは若い世代になりますので、このようにはがき絵を募集するやり方もあると思いますが、小中学生をターゲットにして若い世代に応募してもらおうという働きかけが大事だと思います。働きかけなくても一人で何枚も応募される方もいらっしゃると思いますが、若い世代である小中学生に働きかけてそちらの応募を増やすことも必要かと思いません。</p>
委員	<p>関連する事項で、通学路の景観も関わってくるかと思うのですが、小中学生ではなくスマホを持っている高校生くらいを対象としてウェブ上で写真展をやるといった軽いノリでやっていただくのも色々な方向に視点が向いて良いのかと思います。より簡易に、かつ色々な人が参加できるという点で良いかと思うので提案します。</p>
委員	<p>私も写真展が良いかと思えます。はがき絵は絵のうまい人しか参加できないのですが、写真は誰もができるので、すそ野を広げるという意味では写真展を隔年で復活させるかもしれないという話がありましたが、賛成です。</p> <p>また写真展を平成18～22年度に5年間開催されましたが、それらの写真を分析されたことはありますか。例えばどの風景の写真が多いとか、そういう傾向が分かると川西市民に愛されている景観が分かると思います。</p>

	<p>また他都市の事例で言うと、姫路市が景観遺産というものを作っています。姫路市のホームページによると平成26年度に行っていたようですが、市民の方々からあなたの良いと思う姫路市の景観の写真を募集し、選考して景観遺産に登録するという内容でした。登録したからといって特別なことをするという訳ではないカジュアルなものなのですが、いいねと評価するシステムを持てば、写真が好きな方はもっと良い風景がないかと探してくれます。写真展という1回のイベントで終わるのではなくて、長期間「良い」ものを「良い」と言い続けられるような仕組みに持って行けるとより良いかと思います。</p>
議長	<p>写真を応募される方に、一言なぜこれが良いかというコメントをつけていただくと撮った人の思いが解析できてより良いかもしれませんね。そのような形で色々使っていただくと良いと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>第3回南部編のフォーラムで映像を上映されたということですが、このような映像コンテンツを1つ持っている、講演会や小中学校での教育のツールとして、色々な場で使えてとても有効です。今後何かの機会に動画を作ることがあれば、川西市の景観に関する動画を作っていたら良いと思います。</p>
議長	<p>本日は貴重なご意見をたくさんいただき、ありがたいことです。</p>
委員	<p>河川景観に関して私が感じていることなのですが、多田神社周辺の猪名川で護岸工事がされてきています。鶯の森駅周辺まで工事されてきており、景観が昔に比べて大分変化しました。良くなったのか悪くなったのか微妙なのですが、その辺りの確認がいるのではないかと思います。</p> <p>集落景観の視点から見ると、多田神社周辺の集落がはっきり見えるようになりました。以前は護岸に木があって集落があまり見えていなかったのですが、しっかりとした擁壁になったので多田神社周辺の集落が見えるようになりました。新興住宅地とは違う景観で、初めは景観が悪くなったという印象を持ったのですが、良く見ると雰囲気があって良い景観であると感じました。ところがその対岸にはパチンコ店があり、また大きな商業施設が建設中です。あの周辺の景観のギャップが大きいので、一度検証する必要があると思います。川西市の猪名川流域で護岸工事が進んできておりますので、今後検証していく必要があると思います。</p>
議長	<p>その他、よろしいでしょうか。</p> <p>報告は以上でございますが、その他事項といたしまして事務局より「平成28年度事業計画について」説明があるとのこと。それでは、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p>
議長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>先程ご意見のあったはがき絵の件は、写真の募集も併用するのは次年度にはまだ無理でしょうか。</p>

事務局	今現在、7月末まではがき絵の募集を行っておりますので、その次の段階で写真に切り替えるのかを検討したいと思います。
委員	はがき絵に応募されている方は生きがいを持って描かれていると思うので、なしにしない方がいいと思います。
議長	<p>並行して両方するのが良いと思います。</p> <p>それから会長からの要望なのですが、今回参画と協働に向けてのフォーラムの啓発の部分の報告が主体だった訳ですが、本来なら届出が9件あり、事前の相談のケースも増えていきますといったことがありますので、そのような情報も年度末の審議会で具体的にご報告いただければと思います。景観計画のPDCAをどうしていくかという問題もありますけれども、Cの部分をこの審議会が担っていると思いますので、そういった意識で報告を受けたいと思います。</p> <p>先程ご報告のあった景観アドバイザーの派遣に関して、年度の中間で派遣の可否について審査をすると説明がありましたが、具体的に地区から応募があってそこに派遣するかどうかという審議なのですか。</p>
事務局	まだ検討段階なのですが、個人が所有している自宅の修景相談を希望する方が応募された場合、アドバイザー派遣をするに当たって適切であるかどうかとか、団体であれば協定を結んだり、あるいは地区指定に向けて活動を希望する団体が応募してきたらその団体がアドバイザーを派遣するにあたって適切な団体かどうか等を検討するため、一定の資料をそろえて審議会にご意見をお聴きしたいと考えております。
議長	<p>わかりました。</p> <p>資料2の下向きの矢印がある時期が審議会の開催に該当するのですね。</p>
事務局	明確な時期がお示しできないのですが、大体の目安で夏から秋口にかけて第1回の審議会を開催させていただきたいと考えております。
議長	<p>29年度は公共施設等景観形成ガイドラインと景観色彩ガイドラインの策定に関して、年度当初に諮問があって、具体化について議論して策定していくという作業が出てくるといことですね。</p> <p>来年度は議論や意見交換はあまりないということですか。事前にこの審議会でガイドラインについての素案を作る手前の意見交換みたいなものはされるのでしょうか。</p>
事務局	進捗状況にもよりますが、現在は第2回審議会で進捗報告と書いておりますが、一定の検討案ができましたら第1回審議会で意見交換をしていただければと思っております。
議長	今日のように意見交換をした方が、自由なアイデアや発想が出てくると思いますので、そういう場があると良いと思います。
委員	それに関連して、ガイドラインはどのような内容にしていくかという中身も大事なのですが、最も大事なのはどのように使われるかということです。ガイドラインというのは作ったまま、担当者が変わったらそのまま放置されるということがよく聞くので、

	<p>どのようなタイミングで誰が使うのか、そして部署の連携をする時にどう使うのかといった使われ方の具体的なイメージを丁寧に検討していただければと思います。</p>
事務局	<p>川西市全体として今年度の大きな事業は、キセラ川西地区の区画整理事業や年度末には新名神高速道路が開通します。新たに設置される IC の周辺地区に一定の大きな建物等が建つと思われますので、その辺りがガイドラインの対象に該当してくるかと思えます。ガイドラインにつきましては、当初 28 年度に策定の予定をさせていただきましたが、もう少しこれら事業の進捗等を確認した上で進めていこうとしておりますので、28 年度中の策定には至らず 29 年度に掛けてという形になっております。</p>
事務局	<p>少し補足をさせていただきますと、具体的にイメージしやすいのが今言ったような施設であります。例えば河川改修をする際や道路の街路樹を剪定していった見え方が変わる等、ガイドラインを誰が使うかというところで多分建物や施設を所有している人以外の市の職員が通常業務の中で周知しておかないといけないと思っております。景観計画の中でもメインは日常シーンと言っており、日々の生活の中での見える姿が大事ですが、現在、庁内の関係課に普及啓発をすることが抜けているように思っておりますので、ガイドラインを作成するに当たって施設を所有している部署に意見を聞きながらまとめるということと一緒にする必要があるように思っております。</p> <p>旧黒川小学校の活用の件でも、庁内の関係課以外にもこのような理念で景観計画を推進しているということを日常業務の中で気にしてくださいということを学習会等で周知していく必要があると考えております。</p>
委員	<p>3 番目の景観形成重点地区等・景観建造物の指定へ向けた景観アドバイザー派遣では、これらの指定をしていきたいという方向だと思えますが、アドバイザー派遣という受け身的な考え方ではなく、市民に広報してどのような良い建物があるか写真を募集する等、市民が主体的に関われるものがあったら良いのではないかと思います。今の案は、じっくり取り組みますというように感じますが、もう少しオープンな感じで市民を巻き込んでいく方が良いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>おっしゃる通り、写真展はテーマを決めて単独にならないように、市の重要建造物や重点地区になるようなものを募集したいと思います。また、来年度考えていますのはあまり受け身にならないように、アドバイザー派遣の前にフォーラムの開催を予定しているのですが、今までのような講演のスタイルではなく、まち歩きとか市民を巻き込んで景観資源を発掘しに行くような感じを考えておまして、発掘した場所にアドバイザーを派遣する等も考えております。受け身にならず積極的に呼びかけていけるよう検討していきます。</p>
委員	<p>能勢電鉄には昔から変わらない良い駅名があります。その由来を見つけるまち歩きはおもしろいと思えますし、景観につながっていくと思えます。資料に記載されているような絹延橋の話はとても愛着のわく話だと思いますし、景観の建物を意識して、我々ヘリテージマネージャーに依頼してもらえれば、うまくまち歩きできると思えますので、その時はご協力させていただきます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>景観形成重点地区と景観建造物の指定を市がどのように計画されていこうとしているか全然見えていないように思いましたので、キセラ川西のようにじっくり時間をかけなが</p>

委員	<p>らやっていきます等、その辺りの具体的な行程を示していただけたらと思います。計画を策定したものの、その実施をどうしていくかという行程が見えたら良いと思いますので提示をお願いしたいと思います。</p> <p>計画策定後の取り組みとして、一年間をかけてここまでされてきたので、この動きをさらに高めて、「策定後の取り組みの先進事例日本一」を目指していただきたいと思います。その時のポイントとしては、この1年間の報告資料から見られる市民の皆さんの意見の2点を踏まえる必要があると思います。1つめは、「シビックプライドを考えた」や「住民主体でやっていかななくてはいけないと思った」とか、「川西を愛する気持ちが良く表れている」といった、「川西市へのふるさと意識」が表れた意見です。景観計画の目的・目標としてはこのような市民をどれだけ増やせるのかということがあると思いますが、それに向かつては一步が踏み出せているように思います。一方では、「景観計画としてこれから誰が何をするのが分からない」といった意見も出ています。確かに、景観計画はいつ何をやるかという一般的な事業の計画とは性格が違っていますので、分かりにくいところがあると思います。ですから、景観への意識が芽生えた人々、高まった人々と、まだ景観づくりとは何のことかわからない人たちのギャップを埋める活動が来年度のスタートになると思います。景観形成重点地区の指定など景観条例の中で決められた施策を行政として粛々と行っていくことも重要ではありますが、本市における景観政策としては、今こうして市民の景観意識が育ちつつあるなかで、そうは言っても現状ではせっかく作った景観計画の認識がまだ浸透していないということも認識しつつ、景観計画推進の意識を持った人をどれだけ増やせるのかという高い目標をもって今後の取り組みを考えていただければ、と思います。</p>
議長	<p>その他、よろしいでしょうか。</p> <p>それではこれで本日の議題を終了させていただきます。</p> <p>以上をもちまして、平成27年度第1回川西市景観審議会を終わらせていただきます。皆さま、どうもありがとうございました。</p>